

4

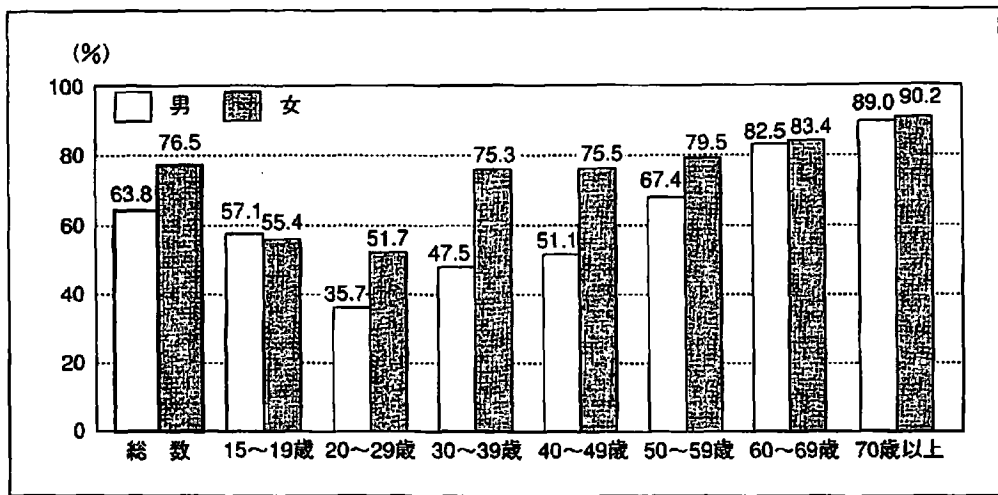
食生活状況

食事を決まった時間にとっている者、1日3回食事をとっている者は、それぞれ20歳以上のいずれの年齢で、男性に比べて女性に多く、男女とも年齢とともに増加

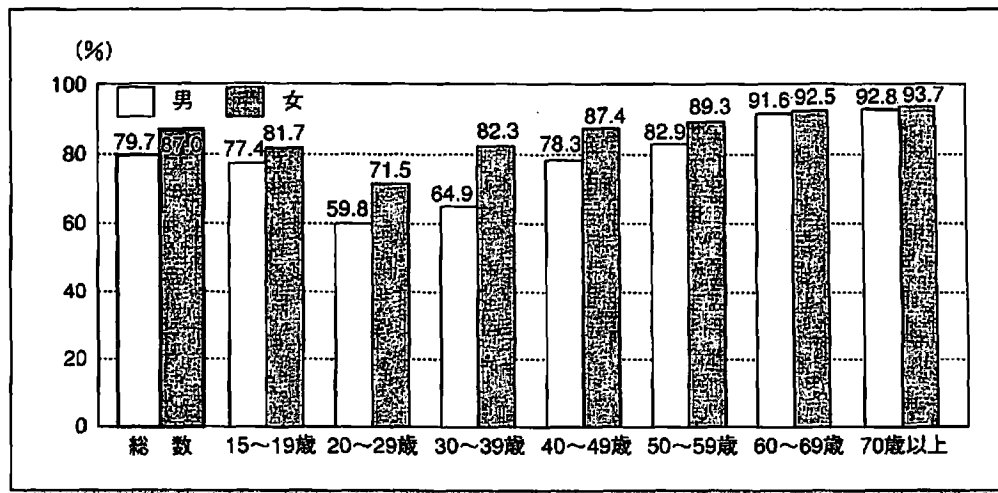
「食事を決まった時間にとっている者」で、性別で差の大きい年齢は30歳代で、男性47.5%、女性75.3%であった。

「1日3回食事をとっている者」でも同様に30歳代で、男性64.9%、女性82.3%であった。

◆図27◆ 食事を決まった時間にとっている者の割合（性・年齢階級別）



◆図28◆ 1日3回食事をとっている者の割合（性・年齢階級別）

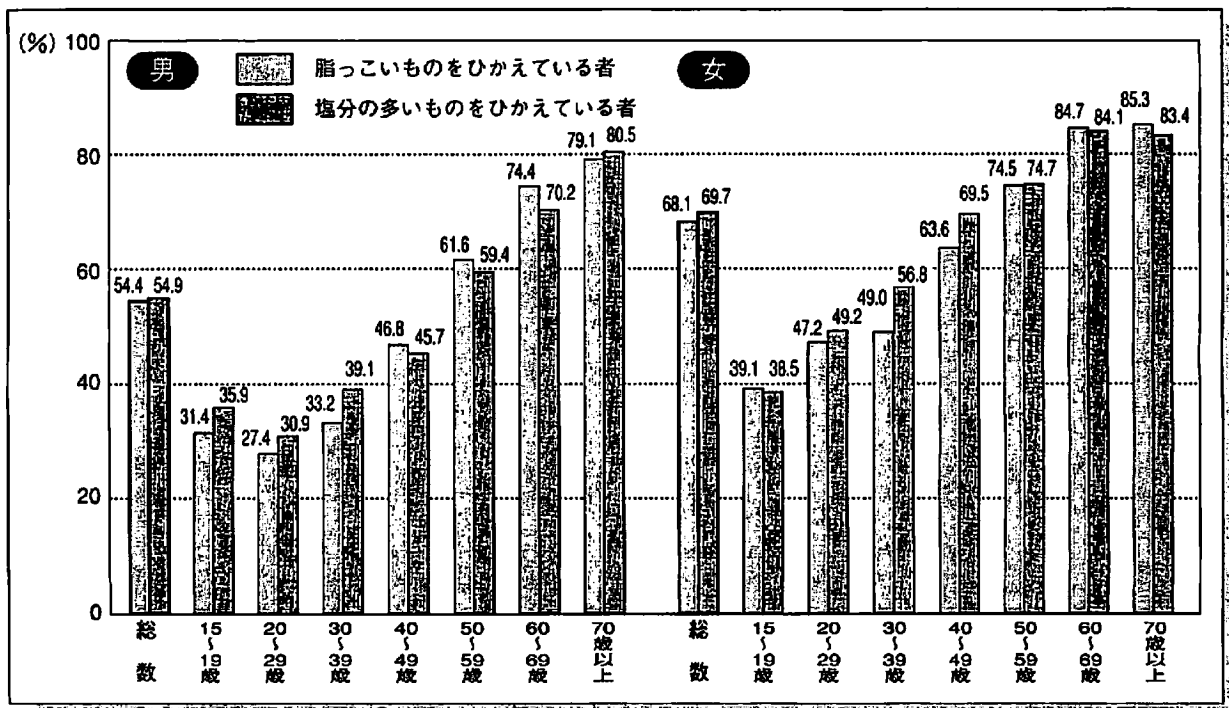


脂っこいものや塩分の多いものをひかえている者は、
 男性で約55%，女性で約69%。食生活を点検する習慣をもっている者は、
 全体に低く、男性で22%，女性で38%

「脂っこいもの」や「塩分の多いもの」をひかえている者は、男性では20歳代から、女性では15歳から、ほぼ年齢とともに増加している。

「食生活を点検する習慣をもっている者」は、女性の60歳代（47.6%）に多いが、5割に満たない。

◆図29◆ 脂っこいもの、塩分の多いものをひかえている者の割合（性・年齢階級別）



◆図30◆ 食生活を点検する習慣をもっている者の割合（性・年齢階級別）

